

教育委員会

教育行財政	X IV - 1
学校教育	X IV - 3
社会教育・文化財	X IV - 11
博物館	X IV - 13
図書館	X IV - 17
市民スポーツ	X IV - 21
青少年行政	X IV - 23
人権教育	X IV - 26
教育・視聴覚センター	X IV - 28

教育行財政

● 教育委員会開催状況 (平成24年)

会 議	議 案 件 数
13回	26件

● 審議状況 (平成24年)

	条 例	規 則	規 程	要 綱
制 定	— 件	— 件	— 件	— 件
廃 止	1	1	—	—
改正 (全部)	—	—	—	—
〃 (一部)	1	6	1	—

● 市内の教育機関 (平成24年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	— 校	— 人	— 校	— 人	2校	1,341人	2校	1,341
高校全日制	—	—	9	7,666	4	2,634	13	10,300
定 時 制	—	—	2	684	—	—	2	684
通 信 制	—	—	1	1,105	1	728	2	1,833
中 学 校	22	8,886	—	—	3	740	25	9,626
小 学 校	40	17,523	—	—	1	427	41	17,950
幼 稚 園	24	1,224	—	—	15	3,373	39	4,597

● 市内児童・生徒数の推移 (公立) (平成24年5月1日現在)

年度	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校
	計	計	計
平成13	1,479	17,698	8,815
14	1,477	17,559	8,632
15	1,551	17,439	8,406
16	1,481	17,562	8,266
17	1,631	18,432	8,470
18	1,619	18,396	8,610
19	1,603	18,363	8,565
20	1,527	18,469	8,613
21	1,372	18,496	8,501
22	1,253	18,136	8,659
23	1,279	17,795	8,811
24	1,224	17,523	8,886

● 教育費

(単位：千円)

費目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
教育費 (A)	8,419,444	8,665,713	8,846,326
教育総務費	2,644,332	2,438,380	2,539,574
小学校費	2,234,979	2,608,992	2,523,008
中学校費	967,277	1,154,309	1,253,723
幼稚園費	836,475	827,646	809,068
社会教育費	1,228,442	1,044,994	1,147,239
保健体育費	507,939	591,392	573,714
一般会計歳出額 (B)	100,696,988	103,351,966	102,697,438
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	8.4%	8.4%	8.7%

● 児童1人当たり教育費 ※いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
小学校	93,715	100,053	98,728
中学校	98,734	101,565	100,294
幼稚園	99,146	93,451	96,434

● 学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度		
	校	事業費	校	事業費	校	事業費	
小学校	校舎新增築	1	199,116	—	—	—	—
	危険等校舎改築	—	—	1	639,885	1	265,339
	バリアフリー化改修	2	96,647	1	14,674	—	—
	給食室改修	1	37,091	2	57,904	—	—
中学校	校舎新增築	—	—	—	—	—	—
	バリアフリー化改修	—	—	1	18,810	—	—

● 学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分(備品)	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	41,677	—	14,867	—	20,851	—
	保健	737	—	1,649	—	3,064	—
	給食	4,056	1,838	19,903	2,902	4,846	—
中学校	理科教育等教材・管理	25,816	—	68,959	—	12,003	—
	保健	518	—	805	—	1,584	—
	給食	1,453	—	1,211	—	522	—
幼稚園	保育・管理	4,198	—	6,857	—	5,752	—
	保健	140	—	31	—	0	—
共同調理場	給食	0	—	0	—	0	—
合計		78,595	1,838	114,282	2,902	48,622	—

学校教育

● 第2次四日市市学校教育ビジョン【平成23～27年度】

○ 基本理念 「生きる力」「共に生きる力」をはぐくむ

○ めざす子どもの姿 「輝く よっかいちの子ども」

問題解決能力

将来、社会人として生きるために必要な問題解決能力を身につけた子ども

豊かな人間性

自らを律しつつ、他者とともに協調し、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を備えた子ども

健康・体力

自他の健康・安全について実践していく力やたくましく生きるための体力を備えた子ども

豊かな人間性をはぐくむためのコミュニケーション能力

他者の意見を聴き、自分の思いを伝える力を身につけ、互いに尊重し、共に向上する人間関係を築くための資質を備えた子ども

○ めざす子どもの姿を実現していくための3つの視点

1 段差のない教育

2 途切れのない支援

3 家庭・地域との協働

● 平成23・24・25年度学校教育指導方針

(指導の力点) ○ 生きる力・共に生きる力の育成 ○ 家庭・地域の教育との連携
○ 教職員の資質・能力の向上 ○ 学びの一体化の推進

(具体方針)

幼稚園教育

生きる力・共に生きる力の基礎の育成

確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識・技能の定着 思考力・判断力・表現力等の育成 学び合いの重視
指導と評価の一体化の充実 外国語活動・英語教育の推進 ICTを活用した授業の充実

豊かな人間性の育成

道徳教育・生徒指導・人権教育・体験活動の充実 読書活動の推進

健康な心と体の育成

体力向上を図る取組・安全教育の充実 健康を管理・改善する資質・能力の育成 食育の推進

社会の変化に対応し、主体的に生きる力の育成

キャリア教育・多文化共生教育の推進 環境教育・福祉教育・男女共同参画をめざす教育の充実

特別支援教育

自立し社会参加するための力を育成

教職員の資質・能力の向上

確かな教師力を高める効果的な研修の実施

家庭・地域との協働

対話を大切にした、共に進める子育ての推進

● 特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (H24. 4. 1 現在)

学級の種類	小 学 校		中 学 校	
	校 数	学級数	校 数	学級数
知的障害	36	40	16	61
自閉症・情緒障害	30	31	15	15
肢体不自由	6	6	6	6
難 聴	1	1	1	1
通級指導教室 (言語)	3	5	0	0
通級指導教室 (情緒等)	3	4	0	0

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (H24. 5. 1 現在)

区 分	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	難聴	計
小学校	177	137	8	3	325
中学校	66	41	9	4	120
計	243	178	17	7	445

● 保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

・主食は、地場産の特別栽培米の米飯給食を9月までは週2.5回、10月以降は週3回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を9月までは週2.5回、10月以降は週2回実施している。

・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

・中学校22校では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。

・幼稚園23園(塩浜幼稚園を除く)では民間給食業者によるデリバリー方式の給食を週2回実施している。

1. 学校給食実施状況

(平成24年度)

区 分		小 学 校	中 学 校 (デリバリー方式)	幼 稚 園 (デリバリー方式)
実 施 校 数		40校	22校	23園
対 象 人 員		17,523人	8,886人	1,206人
調 理 員 数		※ 236人	—	—
1食あたり額	パ ン	50円07銭	—	—
	米 飯	59円94銭	—	—
	牛 乳	47円91銭	—	—
	パン副食	146円46銭	—	—
	米飯副食	136円59銭	—	—
1食あたり経費		244円44銭	300円	—
年間実施予定回数		189回	191回	年長 72回 年少 65回
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	4,300円	(一食)	(一食)
	低 学 年	4,100円	300円	250円

※調理員内訳 正職員43人 再任用職員1人 パート職員96人 民間委託96人

2. 栄養摂取量（小学校）（平成24年度）

エネルギー	640kcal	
たん白質	25.5 g	
脂肪	20.4 g	
カルシウム	349 mg	
ビタミン	A	287 μ gRE
	B ₁	0.46 mg
	B ₂	0.58 mg
	C	30 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額（金額単位：千円）

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
幼稚園	37	439	30	237	36	445
小学校	1,033	8,527	1,098	9,359	1,023	8,131
中学校	1,237	14,315	1,275	14,618	1,284	17,720
合計	2,307	23,281	2,403	24,214	2,343	26,296

4. 保健担当者一覧（平成24年5月1日現在）

職名	配置状況	人員数
学校医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	64人
学校歯科医		89人
学校薬剤師	本務小学校21人、中学校11人	36人
保健主事	各小・中学校1人	62人
養護教諭	〃（海蔵小・日永小・常磐小・川島小各2人）	66人

5. 学年別体位と平均値（平成24年度）

区分		男 子						女 子					
		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市	全国	四日市
幼	5	110.5	110.0	18.9	18.7	61.9	61.7	109.5	109.4	18.5	18.2	61.4	61.3
	6	116.5	116.0	21.3	21.0	64.8	64.7	115.6	115.2	20.9	20.6	64.4	64.3
小	7	122.4	122.5	24.0	24.0	67.6	67.8	121.6	121.2	23.5	23.3	67.3	67.2
	8	128.2	128.1	27.1	27.0	70.3	70.3	127.4	127.2	26.3	26.2	69.9	70.0
	9	133.6	132.3	30.5	30.5	72.6	72.7	133.4	133.4	29.9	30.0	72.6	72.7
	10	138.9	138.4	34.0	33.6	74.9	74.6	140.1	140.0	34.0	33.7	75.8	75.6
	11	145.0	144.2	38.2	37.5	77.5	77.2	146.7	146.6	38.9	38.8	79.2	79.2
中	12	152.4	151.4	44.0	43.0	81.3	80.8	151.9	151.5	43.7	43.0	82.2	82.1
	13	159.5	159.0	49.0	48.2	84.9	84.9	155.0	154.9	47.4	46.8	83.9	84.2
	14	165.1	164.5	54.2	53.1	88.2	88.1	156.5	156.1	49.9	49.0	84.9	84.9

● 奨学金事業

1. 貸与内容 (平成24年度)

名 称	四日市市奨学会
対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子
【貸与額】 大学、短大、専修学校 (専門課程)	23,000円/月 入学支度金 35,000円
【貸与額】 高校、高専、専修学校 (高等課程) 等	12,000円/月 入学支度金 30,000円

2. 貸与状況 (新規貸与者数)

年度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合計
平成18	12	29 (4)	41 (4)
19	8	29 (6)	37 (6)
20	9	31 (6)	40 (6)
21	13	18 (2)	31 (2)
22	20	32 (9)	52 (9)
23	10	30 (4)	40 (4)
24	17	20 (2)	37 (2)

() は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

事 項	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
	卒業1年後	10年を限度	年賦	毎年1月末日まで

● 私学助成

(平成24年度)

私立学校の教育条件の維持向上を図り、私学教育の振興に寄与する。

区 分	運営費補助 (設置者補助)	教員研修費補助
幼稚園	1園年額 400,000円 + (100円 × 園児数) + (670円 × 内科検診実施園児数) + (440円 × 歯科検診実施園児数)	(園長 + 教員) × 10,000円
小・中学校、高等学校等	市内在住児童1人年額 市内に設置されている学校の場合 3,800円 市外に設置されている学校の場合 3,000円	—

● 就学援助

平成24年度実績

(単位：円)

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

区 分	金 額
小 学 校	119,195,626
中 学 校	81,260,736
計	200,456,362

● 就園奨励

幼稚園教育の振興を図るため、市内の公私立幼稚園に就園する園児の保護者(市民)に対し、世帯の経済状況に応じ、入園料・保育料の減免(補助)措置を講じる。

● 市立小・中学校、幼稚園一覧

1. 小学校

(平成24年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数	児童数	学級数		保有教室数	
							普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5. 3. 15	人 26	人 348	12	(3)	14	7
浜田	北浜田町 13-6	明 8. 9. 20	24	515	16	(1)	20	7
西橋北	川原町 25-22	大 5. 5. 20	12	176	6	(1)	11	6
東橋北	東新町 26-32	昭 11. 8. 21	11	63	6	(0)	10	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8. 7. 1	43	842	26	(2)	26	6
塩浜	塩浜町 1	明 8. 11. 2	15	188	7	(1)	16	6
三浜	海山道町一丁目 1532-1	昭 31. 4. 1	12	77	6	(1)	9	7
富田	富田一丁目 24-49	明 20. 7. 1	33	695	20	(3)	26	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9. 9. 30	26	533	17	(2)	24	8
羽津	大宮町 16-35	明 7. 5. 10	25	493	16	(2)	23	7
常磐	城西町 9-14	明 8. 12. 5	42	809	24	(3)	32	8
日永	日永四丁目 5-13	明 8. 11. 10	36	694	22	(1)	25	6
四郷	西日野 3207-1	明 9. 2. 4	21	408	12	(2)	18	6
内部	采女町 888-1	明 7. 2. 3	28	553	18	(1)	27	7
小山田	山田町 1373-1	明 8. 12. 1	15	194	6	(2)	13	6
河原田	河原田町 70	明 8. 11. 9	14	223	7	(1)	12	6
川島	川島町 2046	明 8. 11. 28	40	827	25	(3)	29	6
神前	曾井町 493-1	明 8. 2. 4	19	278	10	(2)	14	6
桜	桜町 1257	明 8. 7. 1	26	450	13	(2)	24	7
梟	赤水町 1002	明 7. 5. 4	21	402	12	(2)	21	6
三重	東坂部町 222-2	明 8. 11. 1	23	422	14	(2)	17	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7. 3. 16	39	830	26	(2)	28	7
八郷	平津町 99-1	明 25. 6. 1	27	501	16	(2)	23	7
下野	朝明町 475-1	明 9. 3. 1	23	418	13	(1)	22	7
保々	西村町 2741	明 7. 4. 25	27	499	16	(1)	20	6
水沢	水沢町 2491	明 8. 12. 4	14	214	7	(1)	11	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38. 5. 7	18	268	10	(2)	13	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46. 4. 1	33	555	19	(4)	19	6
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48. 4. 1	19	226	7	(3)	21	6
常磐西	大字松本 764	昭 48. 4. 1	40	755	25	(4)	28	6
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50. 4. 1	21	246	9	(2)	25	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50. 4. 1	24	421	13	(3)	29	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50. 4. 1	30	561	18	(2)	22	6
桜台	桜台一丁目 32	昭 52. 4. 1	19	332	11	(2)	18	7
三重北	山之一色町 90	昭 53. 4. 1	21	323	12	(2)	16	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53. 4. 1	14	224	7	(1)	10	6

羽津北	大字羽津 500	昭 57. 4. 1	26	503	16	(2)	19	6
内部東	采女町 423-4	昭 59. 4. 1	30	607	19	(2)	24	6
中央	元新町 2-36	平 7. 4. 1	14	181	6	(1)	13	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8. 11. 20	33	661	19	(2)	27	9
合 計 [40 校]			984	17515	564	(78)	799	262

2. 中学校

(平成24年5月1日現在)

校 名	所 在 地	創立年月日	教職員数	生徒数	学級数	保有教室数		
						普通	特別	
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22. 4. 15	33	373	12	(3)	15	10
橋北	高浜町 1-4	昭 22. 4. 15	14	120	4	(1)	7	8
港	十七軒町 10-41	昭 22. 4. 15	23	255	8	(2)	11	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22. 4. 15	21	147	6	(3)	12	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22. 4. 15	42	655	18	(3)	20	10
富田	東茂福町 4-19	昭 22. 4. 15	24	348	9	(2)	16	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22. 4. 15	23	293	10	(2)	15	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22. 4. 15	27	397	12	(2)	17	10
南	前田町 18-17	昭 22. 4. 15	42	624	18	(2)	21	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22. 4. 1	30	227	14	(1)	16	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22. 4. 1	33	487	16	(2)	22	10
朝明	平津町 409-2	昭 22. 4. 1	47	576	20	(3)	21	9
保々	西村町 2787-2	昭 22. 4. 15	18	722	7	(0)	10	8
常磐	大字松本 810	昭 48. 4. 1	39	213	18	(1)	22	10
西陵	西山町 7229	昭 51. 4. 1	17	630	7	(1)	12	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51. 4. 1	25	263	8	(2)	18	10
三重平	三重八丁目 1	昭 52. 4. 1	21	317	9	(1)	15	10
羽津	大字羽津甲 26	昭 54. 4. 1	29	484	14	(2)	16	8
西朝明	北山町 1169	昭 54. 4. 1	24	352	10	(1)	16	8
桜	桜町 1064	昭 57. 4. 1	28	458	13	(2)	20	10
内部	波木町 697	昭 60. 4. 1	36	624	18	(1)	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22. 4. 15	23	321	9	(1)	14	11
合 計 [22 校]			619	8886	260	38	354	203

※ () 内は特別支援学級数を示した外数

※ 用務員・調理員は教職員数から除く

3. 幼稚園

(平成24年5月1日現在)

園名	所在地	創立年月日	教職員数	園児数	学級数
四日市	元町 10-4	明 28. 10. 1	3 (5)	51	2
橋北	高浜町 1-4	昭 31. 5. 10	2 (2)	17	1
富田	富田 1 丁目 24-26	大 15. 7. 3	3 (4)	53	3
海蔵	大字東阿倉川 580	昭 22. 6. 18	5 (4)	96	4
納屋	蔵町 5-8	昭 28. 10. 26	0 (0)	0	0
泊山	前田町 1-19	昭 21. 11. 4	5 (5)	107	4
内部	采女町 911	昭 29. 5. 1	5 (4)	108	4
川島	川島町 1725-1	昭 29. 4. 10	3 (2)	58	2
神前	高角町 338-1	昭 28. 4. 10	3 (2)	21	1
三重	東坂部町 110-1	昭 29. 5. 5	3 (4)	47	2
保々	西村町 2738	昭 31. 4. 10	4 (2)	36	2
下野	朝明町 464	昭 37. 4. 1	3 (2)	42	2
羽津	大宮西町 19-22	昭 40. 4. 1	4 (4)	62	3
富洲原	富洲原町 31-14	昭 41. 4. 1	3 (3)	40	2
高花平	高花平 2 丁目 1-56	昭 44. 4. 1	2 (3)	37	2
大矢知	大矢知町 3255	昭 46. 4. 1	3 (3)	61	2
八郷中央	千代田町 265-1	昭 47. 4. 1	2 (3)	34	2
桜	桜町 1420	昭 48. 4. 1	3 (3)	52	2
常磐中央	ときわ五丁目 4-53	昭 49. 4. 1	5 (4)	109	4
塩浜	大字塩浜 887-1	昭 50. 4. 1	2 (1)	18	1
笹川中央	笹川三丁目 157	昭 52. 4. 1	3 (2)	42	2
三重西	三重三丁目 130	昭 52. 4. 1	2 (3)	30	2
楠北	楠町北五味塚 2060-63	昭 39. 4.	4 (5)	74	3
楠南	楠町南五味塚 275-1	昭 45. 11. 5	2 (2)	29	2
合 計 [24 園]			74 (72)	1224	54

※ () は嘱託、臨時等で外数

※ 用務員は、教職員数からは除く

※ 橋北幼、神前幼、塩浜幼は、混合 1 クラスで算出

● 私立小・中学校、幼稚園一覧（市内）

1. 私立小・中学校

（平成24年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数	児 童 ・ 生 徒	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	31人	427人	18
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	36	471	16
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	34	162	7
メリノール女子学院中学校	平尾町2800	昭39	12	107	6
合 計 [4校]			113	1,167	47

※教員数には兼務者を含む

2. 私立幼稚園

（平成24年5月1日現在）

園 名	所 在 地	創 立 年 月 日	教 員 数	園 児 数	学 級 数
暁	天カ須賀五丁目2-5	昭21	20人	220人	10
双 葉	三栄町5-3	昭12	2	0	0
エ ン ゼ ル	千代田町459	昭31	24	480	16
富 田 文 化	大字茂福905-4	昭35	25	161	9
羽 津 文 化	別名五丁目4-31	昭46	26	263	11
ひ か り	伊倉二丁目8-23	昭36	22	280	12
ま き ば	松本三丁目1-37	昭46	14	135	7
海 の 星 カ ト リ ッ ク	十七軒町2-4	昭39	7	54	3
あ お い	大矢知町2700	昭42	49	438	18
桜 あ お い	智積町6104	昭53	28	286	12
と き わ	西松本町15-10	昭44	25	276	9
津 田 第 一	笹川一丁目106-2	昭47	33	329	12
津 田 第 二	笹川七丁目52	昭49	16	157	7
津 田 三 滝	川島町6513	昭53	16	182	7
め ぐ み の 園	室山町475-1	平 7	23	112	5
合 計 [15園]			328	3,373	138

※教員数には兼務者を含む

社会教育・文化財

● 社会教育

＜平成24年度主要事業＞

(1) 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

(2) 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、40小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

(3) 子どもの読書活動推進

「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、計画推進のため、学校・学識経験者等による推進会議や、関係各課による庁内推進会議等を開催した。

● 文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせるまちづくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

＜平成24年度主要事業＞

1 文化財の指定

- ・森家住宅（主屋・土蔵）（国登録有形文化財 平成24年8月13日登録）
- ・石川酒造（主屋・西の座敷・南文庫蔵・北文庫蔵・旧精米場・旧米庫・納屋・大蔵・釜場・槽場・壘詰場・貯蔵庫及び事務所・井戸屋形・自噴井戸・西土塀）（国登録有形文化財 平成25年3月29日登録）
- ・東日野・西日野の大念仏（県指定無形民俗文化財 平成25年3月25日指定）
- ・大樹寺 釈迦三尊十六善神図・蓮華図（市指定有形文化財 平成24年8月23日指定）

2 文化財の調査・整備・維持管理

・指定文化財の整備

国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」 北島組鯨船神社丸水押サガリ復元新調の補助
市指定有形文化財（建造物）「観音寺山門」「顕正寺山門」の修理に関わる修理指導と調査・設計に対する補助

・文化財説明板の整備

（新設）

- ・県指定有形文化財（彫刻）「阿弥陀如来立像 附 像内納入文書1巻19枚」（龍泉寺）

（取替え・補修）

- ・県指定記念物（史跡）「広古墳A群」
- ・市指定有形文化財（建造物）「龍王山宝性寺」
- ・市指定記念物（史跡）「経塚公園」
- ・市指定有形民俗文化財「奉納御座船模型」（鳥出神社）

- ・「永井遺跡」
 - ・久留倍遺跡保存活用事業
 - 久留倍官衙遺跡整備検討委員会の開催、史跡地の実施設計の作成、復元建物の復元案検討、エントランス地区調整池等設置工事、史跡地の基盤整備、草刈等の維持管理
 - ・天然記念物保存事業
 - 御池沼沢植物群落の環境整備（樹木伐採・伐根、植生及び環境調査）
 - ・旧四郷出張所維持管理事業
 - 建物管理、敷地草刈
 - ・文化財指定地等の除草・清掃
 - 御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・桜町シデコブシ自生地・広古墳A群・大膳寺跡・旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）・天武天皇迹太川御遥拝所跡・茂福城跡・冠山茶の木原・保々の中世旧跡・永井遺跡公園・貝野遺跡公園
 - ・文化財パトロール
 - 埋蔵文化財や天然記念物等の現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員6人・天然記念物担当調査員1人)
- 3 文化財保護の普及・啓発
- ・第59回文化財防火デー（文化財収蔵施設の予防査察と消防訓練 1/21～2/1）
 - ・伊勢湾をのぞむ古代の役所 久留倍官衙遺跡展（市立博物館 11/11～12/9）
 - ・発掘出土品の展示（市役所ロビー）
 - ・遺跡『大膳寺跡』発掘調査現地説明会（25. 3. 9）
 - ・近代化遺産全国一斉公開2012
 - ・出前講座
 - ・文化財整理作業所の見学
- 4 埋蔵文化財の発掘調査等
- 開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や報告書作成、保管・展示を行っている。
- ・発掘調査…川原宮遺跡（一般国道北勢バイパス建設関連）、北山A遺跡・大膳寺跡（以上、個人住宅）
 - ・試掘調査…小古曾城跡・下之宮遺跡・東ヶ谷遺跡等21遺跡
 - ・工事立会…市場城跡等38遺跡
 - ・報告書作成…『茂福城跡 5』『久留倍遺跡 5』『久留倍遺跡 6』

博物館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。内径18.5mの傾斜型ドームのプラネタリウムを併設しており、市民を宇宙の神秘へ誘うとともに、天文知識の普及と啓発にも努めている。

● 施設概要

所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
敷地面積	1,845.84㎡	
建築面積	1,590.40㎡	
延床面積	10,147.11㎡	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建	
	6階	373.48㎡ プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡ プラネタリウム、天文展示コーナー、天文学習室
	4階	1,343.05㎡ 特別展示室
	3階	1,251.01㎡ 常設展示室、サルビアギャラリー、丹羽文雄記念室
	2階	1,321.33㎡ 常設展示室、市民ギャラリー
	1階	1,466.32㎡ エントランスホール、講座室、ショップ、情報コーナー
	地下1階	1,536.71㎡ 収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡ 収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合計	備考
20年度	297日	28,781人	38,347人	36,900人	104,028人	特別展4回・企画展1回
21年度	300日	22,399人	24,956人	38,538人	85,893人	特別展4回・企画展1回
22年度	299日	24,479人	27,903人	45,406人	97,788人	特別展3回・企画展2回
23年度	300日	23,859人	22,152人	45,215人	91,226人	特別展2回・企画展2回
24年度	300日	24,522人	32,723人	45,293人	102,538人	特別展3回・企画展2回

● 博物館事業

1 常設展

基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、六つのテーマに分けて展示している。常設展示内のサルビアギャラリーでは、学習支援展示や収蔵品展示を随時行っている。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

〈 テーマ 1 北勢地域のおいたちと自然環境 〉「自然のすがた」、「大地のおいたち」、「化石は語る」など、現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ち、自然環境の様子を取り上げている。

- 〈 テーマ 2 原始・古代の人びとの生活 〉 「石器を使った人びと」、「土器を使った人びと」、「米づくりと青銅器の製作」、「大和朝廷と北勢地域」、「古墳の築造と渡来人の活躍」、「律令国家への道」など、旧石器時代から平安時代までの人びとの生活の様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 3 “四日市”と“四日市庭浦”の成立 〉 「中世の武士と商人」、「伊勢湾諸湊と四日市庭浦の成立」、「くらしと生活用具」、「いのりと信仰の世界」など、田原美作守忠秀が浜田に築城して街道を城の東に移し、定期的に市が開かれて“四日市”の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも“四日市庭浦”が重要な役割を果たしたことなど、鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 4 東海道と伊勢参宮道の賑わい 〉 「近世への胎動」、「宿場と東海道」、「四日市湊と町の展開」など、四日市が東海道五十三次の43番目の宿駅として、また、日永にあっては、伊勢参宮道との分岐点として次第に交通の要衝の地として発展してきた江戸時代の様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 5 四日市港と近代産業の発展 〉 「みなとの整備」、「近代のくらしと社会」、「地場産業と近代産業」など、四日市港の改修と、製糸、萬古焼、製茶、製網、製油などの地場産業に焦点を当てるとともに、市制を施行し、次第に市域を拡大していく幕末・明治から昭和初期までの近代の様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 6 戦災からの復興と都市の創造 〉 「戦中から戦後のあゆみ」、「港湾・産業都市としての再生」など、甚大な被害をもたらした四日市空襲からの復興と、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。
- 〈 丹羽文雄記念室 〉 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

〈特別展等 平成24年度開催〉

- 岩合光昭どうぶつ写真展
- イギリスからくり人形 ゆかいな世界展
- 2012イタリア・ボローニャ国際絵本原画展
- 久留倍官衙遺跡 伊勢湾をのぞむ古代の役所
- 昭和の暮らし展
- 第54回 北勢地区高等学校美術展

〈学習支援展示 平成24年度開催〉

- 大昔の四日市 ー弥生時代と古墳時代ー
- 四日市空襲と戦時下の暮らし
- 江戸時代の四日市
- 昭和の暮らし展（企画展として開催）

〈特別陳列 平成24年度開催〉

- 博覧会と四日市
- 収蔵品展

3 教育普及活動

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館学課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。さらに、特別展・企画展の展示解説などの案内を行う博物館ボランティア、学校団体からの見学と博物館教室の子どもたちの活動をサポートする学習支援ボランティア

ア及び館蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの充実を図っている。なお、平成24年度から丹羽文雄記念室語り部の活動も加わった。

4 資料の収集保存活動

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。なお、収集資料の専門事項について、審議または指導・助言をいただくため「資料委員会」を設置している。

5 調査研究活動

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

● プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

1 プラネタリウム投映事業

四季の星空と宇宙のテーマを合わせた季節番組や特別番組(生演奏コンサート、CDコンサートなど)により、星座や宇宙・天文の世界を提供する。

保育園、幼稚園、小学校の年齢・学年等に応じた学習プラネタリウムも行っている。

また、天文学の最前線で活躍する講師を招いて天文・宇宙の最近の話題や成果をわかりやすく解説する企画「宇宙塾」の実施や、どなたにもプラネタリウム投映を楽しんでいただくため、解説に字幕を付けたり、赤外線補聴装置の貸出しも行っている。

〈テーマ番組季節番組 平成24年度〉

- ・金環日食 ～太陽が魅せる神秘の瞬間～
- ・シーモンスター
- ・宇宙天気予報
- ・スターリーテイルズ 星座は時をこえて
- ・南十字星をたずねて

〈キャラクター番組季節番組 平成24年度〉

- ・ヤッターマン 星空大作戦だコロン！！
- ・ポケットモンスター ベストウイッシュ
光と影のテンキュウギ
- ・それいけ！アンパンマン ～星の色と空の色～
- ・クレヨンしんちゃん かすかべ防衛隊
宇宙クイズで勝負だゾ！

2 教育普及活動

「天文教育研修」、「子ども科学教室」、「公開観望会」など幅広く天文普及活動を行う。また、三泗地区内にある中学校や小学校と連携した出前授業(移動式プラネタリウム・立体映像システムを活用)も行っている。さらには、中学校との連携事業の事前学習として、夏休み期間のプラネタリウム学習番組を観覧できるよう学習参加券を配布した。

3 天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」とし、古代から現代にいたる宇宙観の歴史をわかりやすくパネルで展示している。また、天体写真や実物の隕石も展示して宇宙の神秘にふれるコーナーを設けている。

さらにパソコンによる太陽系シミュレーション、天文教材ビデオや日本の宇宙開発のようすなどを見ただくコーナーを設置している。また、季節の星座やプラネタリウム番組に合わせた展示も行っている。

4 移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き観望会を実施する。観望会には天文ボランティア（登録43名）が参加協力する。また、天文現象（見頃の惑星など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘の宇宙の姿を紹介していく。

● 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。平成24年度は定例会2回に加えて臨時会1回を開催した。[委員数14名]

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17年4月に開館し、平成21年度から指定管理者制度を導入し、財団法人四日市市まちづくり振興事業団が指定管理者となって管理運営を行ったが、平成24年度より博物館が管理運営を行うことになった。

●施設概要

所在地 四日市市楠町本郷 1068 番地
敷地面積 1,229.23 m²（資料館 932.23 m²、駐車場 297 m²）
建築面積 338.09 m² 延床面積 448.24 m²
構 造 主屋・立会所 木造瓦葺平屋 209.75 m²（四日市市指定有形文化財）
蔵 木造瓦葺平屋 39.08 m²（四日市市指定有形文化財）
水屋 木造瓦葺平屋 2.76 m² 展示棟 木造瓦葺2階建 196.65 m²

●施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋
展示棟：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

●来館者数

平成21年度：7,634人 平成22年度：6,829人 平成23年度：7,321人 平成24年度：8,258人

●事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、小学生写生大会、夏休み社会科自由研究作品展、親子茶道教室、親子で結ぼう！ふろしき講座、企画展示（地域サークル作品展、手作りオートマタ作品展）語り部事業 など

図 書 館

● 施設概要

- ・所在地 四日市市久保田一丁目2番42号
- ・敷地 4,738.01㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
- ・開館 昭和48年7月10日
- ・建物面積 延4,147.42㎡

1階	一般成人室	新聞雑誌コーナー13席・参考図書コーナー10席・軽読書コーナー他26席
	児童室	閲覧席66席
	点字・録音資料室	
2階	一般閲覧コーナー	閲覧席44席
	地域資料室	閲覧席12席
	視聴覚ホール	座席100席
3階	学習室	座席154席
	一般研究室	座席42席
	スナックコーナー	座席34席・図書館不用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー
	会議室	座席24席
	研修室	座席12席

● 業務内容

開館時間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間（6月中の約10日間）、年末年始
館外貸出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自動車文庫	市内に92カ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回（8月を除く）巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資料複写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写（複写料 白黒1枚10円・カラー1枚50円）。ただし、図書館資料（一部を除く）に限る。
資料相談	電話、文書、来館のいずれも可

● 平成24年度事業報告

市民の多様な知的欲求に応じて、その満足度の向上に資するため、資料の収集整備とサービスの質的向上に努めた。また、老朽化する施設を適切に維持管理しながら、四日市市にふさわしい「市民の図書館」づくりに努めた。

- ① 市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な蔵書の整備を図り、20,351冊の図書を受け入れた。
- ② 人権・同和問題関係図書・資料の収集、提供に努めた。
- ③ 点字・録音図書の充実を図るとともに、点訳及び録音基礎講座を開催し、障害者サービスの啓発に努めた。また、活字での読書が困難な方に対しては、対面朗読ができる環境を整え、小さな文字が見えにくい方に対しては、拡大読書器や大活字本を整備している。
- ④ ボランティアや職員による読み聞かせや、各種講座を充実させることにより、図書館利用者の拡大を図った。また、時事問題や季節の話題を取り上げた資料を展示したり、博物館などの公共施設と連携した関連図書の紹介をしたり、利用者の目に触れる機会が少なくなった書庫の図書を「蔵出しコーナー」として配架するなど、蔵書の広報に努め、市民が読書に親しめる工夫を凝らした。
- ⑤ なのはな文庫（学校貸出専用図書）の貸し出し、調べ学習への対応、学校図書館いきいき推進検討委員会への参加など、学校図書館と連携を図った。また、昨年度に引き続き、指導課から担当1名が派遣され、なのはな文庫の管理運営や幼稚園への大型絵本の配送などに従事した。
- ⑥ 視聴覚ホールの空調設備の改修、エレベーターの更新を行い、図書館の利用環境改善を図った。

● 月別事業実施表

月	事業名
4	「子ども読書の日」絵本の読み聞かせ、お話し会(21・22日) 地域学習講座「室町幕府再興と伊勢国」(21日)
5	地域学習講座「織田政権の経済問題と伊勢国」(20日)
6	特別整理期間(4日～13日)／地域学習講座「織田政権と宗教」(30日)
7	夏休み絵本の読み聞かせ(21日)／地域学習講座「長島一向一揆と信長の戦い①」(21日) 藤田浩子さんおはなし会(26日)／手づくり絵本講座(27日、8月1・7日)／夏の絵本劇場(31日)
8	子ども点字教室(3日)／夏休みおはなし会(15日)／夏休みおはなしびっくりBox(22日) 夕すずみおはなし会(24日)／地域学習講座「長島一向一揆と信長の戦い②」(26日)
9	「読書に関するエッセー」作品募集(1日～10月31日)
10	読み聞かせボランティア講座(19・26日)／手づくり絵本講座作品展(20日～11月4日)・発表会(28日) 地域学習講座「長篠の戦いを読む」(21日)／出前講座(30日)
11	点訳基礎講座・音訳基礎講座(3・10・17日)／秋の絵本の読み聞かせ(17日) 地域学習講座「安土築城と城下町」(24日)
12	「読書に関するエッセー」表彰式(12日)／クリスマスおはなし会(22日) 冬休みおはなしびっくりBox(26日)
1	冬の絵本劇場(5日)／地域学習講座「本能寺の変と神君伊賀越え」(27日)／出前講座(31日)
2	読み聞かせ入門(9日)／冬の絵本ライブラリー拡大版(9日) きさらぎきらきらおはなし会(10日)
3	朗読ライブラリー(3日)／春休みおはなし会(28日)

● 過去3年間の利用状況

		22年度	23年度	24年度
開館日数		275	277	274
入館者数	年間総数	291,629	290,507	286,016
	1日平均	1,060	1,049	1,044
登録者数	総登録者数	62,137	61,704	60,669
	個人登録者数(※1)	61,646	61,201	60,136
	(うち15才以下)	(11,797)	(11,794)	(11,527)
	点字・録音(個人/団体)	66/111	62/137	67/152
	団体登録者	314	304	314
	個人登録率(%) (※2)	19.6	19.5	19.2
貸出冊数		916,085	930,639	906,527
	本館	847,962	865,294	842,660
	(うち雑誌)	(26,163)	(26,541)	(27,380)
	自動車文庫	66,520	64,216	62,906
	(うち雑誌)	(710)	(1,075)	(955)
	点字録音:(タイトル数)	1,603	1,129	961
	録音	1,549	1,058	901
	点字	54	71	60
	市民1人当り貸出数	2.9	3.0	2.9
	日曜日の1日平均貸出数	3,854	3,847	3,744
	1日の最多貸出数	5,374	5,305	5,124
調査相談 件数	総数	2,229	3,818	4,481
	口頭	2,176	3,733	4,417
	電話	36	80	60
	文書・メール	17	5	4
予約 リクエスト	総数	43,612	45,045	47,019
	本館(窓口)	19,247	18,773	19,487
	本館(インターネット)	17,915	20,008	21,127
	自動車文庫	6,450	6,264	6,405
複写	件数	3,399	3,630	3,689
	枚数	24,203	23,434	23,033
人口(※3)		314,162	313,683	312,856

※1 個人登録者数は、5年以上未利用者数を除いた。

※2 個人登録率＝(個人登録者＋点字・録音個人登録者)÷人口。

※3 人口は3月31日現在。

● 蔵書統計（平成 25 年 3 月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	12,259	9,615	2,644	277,653
成人図書	11,140	9,349	1,791	234,510
地域資料	679	17	662	21,414
参考図書	220	184	36	10,192
製本雑誌	31	0	31	4,252
人権啓発図書	189	65	124	7,285
本館児童	2,875	2,857	18	80,141
児童図書・紙芝居	2,537	2,848	-311	74,161
製本雑誌	0	0	0	90
人権啓発図書	58	5	53	715
なのはな文庫	280	4	276	5,175
本館外国語(成人・児童)	27	39	-12	3,801
本館雑誌(成人・児童)	2,538	2,362	176	20,974
点字・録音資料	79	2	77	3,942
点字資料(冊数)	21	0	21	1,517
録音資料(タイトル数)	58	2	56	311
自動車文庫	2,468	4,543	-2,075	47,828
成人図書	1,779	3,429	-1,650	28,160
人権啓発図書(成人)	7	6	1	1,004
児童図書・紙芝居	671	1,108	-437	18,507
人権啓発図書(児童)	11	0	11	157
自動車文庫雑誌	105	83	22	456
総計	20,351	19,501	850	434,795

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料				
人権関係施設用図書	218	659	-441	7,144
地図	2	59	-57	2,183

● 図書購入費（当初予算）の推移

年度	23年度	24年度	25年度
総 額	128,768	153,141	154,295
図書費	25,403	25,403	25,403
その他資料費	3,350	3,350	3,350

市民スポーツ

〈スポーツの振興〉

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、施設の充実や各種の事業の推進を図るとともに、自立した地域スポーツを組織化するため、総合型地域スポーツクラブの設立を目指している。

- 各種大会(24年度)
 - スポーツ推進委員関係行事 …………… 四日市市民スポーツフェスタ他 6大会
 - レクリエーション協会関係行事 …………… レクリエーション大会他 8大会
 - 少年スポーツ団関係行事 …………… スポーツ少年団大会他 8大会
 - 体育協会関係行事 …………… 総合駅伝大会他 12大会
- 各種講習会(24年度)
 - 3講習会 …………… 387名参加
- 各種スポーツ教室(24年度)
 - 40教室 …………… 3,092名参加
- 学校体育施設開放(24年度)
 - 40小学校・22中学校…………… 体育館・グラウンド・武道場・プール・テニスコート
- 総合型地域スポーツクラブ(24年度)
 - 5ヶ所…………… 保々、楠、三重、橋北、内部地区

〈体育施設の状況〉

- 利用状況の推移 (人)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
878, 906	903, 916	997, 233	852, 481	962, 758

注 スポーツ以外の利用含む

- 指定管理者の導入状況

1) 四日市市運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 名称：四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループ	中央緑地公園運動施設など31施設

2) 四日市ドーム指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成22年4月1日～平成27年3月31日 名称：トーエネックグループ	四日市ドーム

● 体育施設の設置状況

施設区分	設置ヶ所数	面数等	設備の特徴など
全天候型多目的施設	1	1	ドーム型(9,707㎡)・人工芝
体育館	3	4	トレーニング室併設(1ヶ所)、武道場併設(1ヶ所)
陸上競技場	1	1	第2種公認・全天候型トラック400m
水泳競技場	3	7	流水プール(1ヶ所)、温水プール(1ヶ所)
野球場	5	6	照明設備(2ヶ所)
ソフトボール場	2	3	
サッカー・ラグビー場	3	4	照明設備(1ヶ所)、グリーンサンド(2ヶ所)
テニスコート	4	24	照明設備(2ヶ所)、人工芝(22面)
運動用舟艇場	1	1	30艇係留
弓道場	1	1	5人立ち
武道場	1	4	柔道・剣道場
相撲場	1	1	屋形付土俵
多目的運動広場	1	1	照明設備(1ヶ所)
グランドゴルフ場	1	1	河川敷
地区運動広場	14	—	地区による管理(ソフトボール場・テニスコートなど)

青少年行政

基本方針

大人の責務として地域社会全体で、すべての青少年に「社会的自立への意欲」を育み、成長過程全般にわたる心と体の調和のとれた青少年の健全育成に取り組む。

基本目標

- (Ⅰ) 心豊かでたくましい自立した青少年の育成
- (Ⅱ) 青少年が心豊かに暮らせる環境づくり
- (Ⅲ) 地域ぐるみで取り組む青少年の社会的自立の促進

主要施策

(Ⅰ) 心豊かでたくましい自立した青少年の育成

- (1) 子どもたちの学力・体力・気力の向上、望ましい基本的生活習慣の育成などをめざして、子どもの生活リズムの向上に取り組む。
 - 「子どもの生活リズム向上事業」を推進する。
 - ・生活リズムの向上に結びつく実践活動を幼稚園区及びモデル地域で取り組む。
 - ・生活リズムの改善と習慣化を目指し、全小学校で実践テキストを活用した取り組みを行う。
- (2) 青少年がパソコンや携帯電話等を介した犯罪に巻き込まれないために、青少年自身が「自ら考え行動する」力をつけられるよう啓発を行う。また、インターネット等のトラブルから自他の安全を守れるよう、保護者等にも啓発を行う。
 - 携帯電話・パソコンの有害情報等に係る安全安心対策を実施する。
 - ・有害情報等対策講座の開催、有害情報啓発パンフレット等の配布
- (3) 社会的に自立した個人として成長していくよう、家庭教育への支援や地域の大人への意識啓発に取り組む。
 - 家庭教育に関する主体的な学習活動を支援する。
 - ・家庭教育講座事業の実施を、幼稚園・小中学校のPTAに委託
 - 「家庭の日」啓発事業
 - ・「家庭の日」の定着を図るため、家庭の日啓発講演会を開催するとともに、市広報等を活用した啓発活動を実施
- (4) 地域、学校等において、コミュニケーションを大切にした他者とのかかわりの中で、心豊かにたくましく成長する力を発揮できるような自然体験・生活体験等の場や機会を提供できるよう支援する。
 - グループ活動を通じた社会性と自主性の育成を推進する。
 - ・各種青少年団体の自主的な活動への支援、青少年に対する多くの体験活動の場の提供。
- (5) 地域活動の中で青少年が中心となって活躍できるようなリーダーの育成を図るなど、行政として側面から支援していく。
 - ジュニア・リーダー、サブ・リーダーの資質と能力の向上を図る。
 - ・リーダー養成講習会の開催

(II) 青少年が心豊かに暮らせる環境づくり

- (6) 市民全体に対して、大人が良い手本を示すよう理解と協力を求めるとともに、補導活動時の青少年への声かけなどを通して、青少年による非行の未然防止活動を推進する。
- 地域及び広域における非行等問題行動防止活動を推進する。
 - ・中央補導や地区補導、三四地区広域補導組織による街頭補導活動の実施
 - 青少年問題に関する知識の向上と非行問題や虐待等の防止活動の充実を図る。
- (7) 警察や関係機関の協力を得ながら、出版物・ビデオ・インターネットなどにみられる有害環境の浄化等に努める。
- 地域における有害環境の浄化活動、危険箇所の調査及び安全対策を実施する。
- (8) 青少年の非行問題の多様化にともない、課題を持つ青少年及びその保護者の悩みに対応するため、相談活動を実施する。
- 面接及び電話による「青少年と家庭の悩み相談」活動を実施する。
 - 青少年相談員による、青少年及びその家族への指導・助言活動を実施する。
- (9) 放課後の過ごし方等について、青少年が、コミュニケーションを大切にし他者とのかかわりを持ちながら、安全で安心して豊かに成長していくことができる心温かな地域の環境づくりを推進する。
- 「子どもと若者の居場所づくり事業」を推進する。
 - 下校後、留守家庭の児童を対象に学童保育事業を行う地域の運営委員会に対して助成を行う。
 - 放課後子ども教室推進事業を該当小学校の運営委員会に委託して行う。
 - 地域で整備する子ども広場に対する助成を行う。
 - 登下校時等の子どもの安全対策を行う。
 - ・「こどもをまもるいえ」の設置推進及び「子ども110番みまもりたい」活動の推進

(III) 地域ぐるみで取り組む青少年の社会的自立の促進

- (10) 企業などとも連携、協働した育成活動の促進を図り、「早ね 早おき 朝ごはん」市民運動など、地域の教育力向上に向けた取り組みを進めていく。
- 地域ぐるみで子どもの生活リズムの向上に取り組む。
 - ・四日市市PTA連絡協議会、企業等と連携した啓発活動の取り組み
- (11) 市民が互いに協働して、地域の子どもは地域で育てていこうという気運を高め、行動に移していただけるような支援施策を展開していく。
- 「社会を明るくする運動」を推進し、啓発活動等を実施する。
 - 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」中に啓発運動を展開する。
 - 「子ども若者育成支援強調月間」中に啓発活動を実施する。

(IV) その他

- (12) 新成人による成人式企画委員会を設置し、記念式典のほか、新成人ビデオメッセージの上映等を行った。(1月13日(日) 四日市市文化会館 参加者数 約2,100人)

● 青少年健全育成施設（四日市市少年自然の家）

1. 少年自然の家の設置目的（社会教育施設）

当施設は、豊かな自然の中で集団宿泊活動、野外活動、自然探求等を通じて、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に設置された社会教育施設である。

2. 教育目標

『自然の中で、自分を磨き、友達の輪を広げよう』

3. 運営方針及び事業

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 青少年の主体的な体験活動の推進・支援 | (2) 社会教育と学校教育の連携の支援・促進 |
| (3) 家庭教育の支援と促進 | (4) ボランティアの活用・養成 |
| (5) 施設・設備の充実 | |

4. 施設概要

- (1) 所在地 四日市市水沢町字大谷1423-2
 (2) 本館・分館・水沢市民広場

	本館 そよかぜ、こもれび	分館 せせらぎ	水沢市民広場
宿泊定員	177人	101人	—
各施設	1階—事務室、医務室、会議室、浴室、 総合研修館兼体育館等 2階—宿泊室、食堂、リーダー室等 3階—宿泊室、研修室、リーダー室等	1階—研修室、大広間、 創作室、乾燥室、 リーダー室等 2階—宿泊室、講義室、 リーダー室等	芝生広場
建築延床面積	3,066㎡	1,339㎡	10,000㎡ (敷地面積)
構造	鉄筋コンクリート3階建て	鉄筋コンクリート2階建て	芝生広場
建設年度	昭和62年	昭和48年	平成4年
建設費	9億7,010万円	1億7,650万円	2億940万円

(3) その他の施設

キャンプ場(収容人数 160人、テント 20張り)、ファイヤー場、ふれあいの森、野外炊事場

5. 利用状況

施設 年度	本館・分館		キャンプ場		市民広場		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
19	172	15,206	38	1,708	91	5,959	18,065	4,808
20	188	15,955	37	1,555	85	4,896	17,955	4,451
21	169	28,947	59	2,685	90	6,191	28,393	9,430
22	193	31,855	90	4,090	129	7,657	30,901	12,701
23	187	32,107	106	5,397	134	14,218	23,272	14,205
24	191	30,963	79	4,038	141	10,482	21,132	13,869

・人権教育

本市が進める人権教育は、これまでの同和教育の実践が積み上げてきた理念や成果を踏まえ、世界の人権教育に学びつつ、自分自身、家庭、職場、地域と具体的に結びついたものを取り上げ、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消を目指し、人権が普遍的に存在しうる社会の構築を図ることです。そのためには、主体的に人権教育を推進する人づくりと多様な学習の場の提供などを推し進めます。

● 学校人権教育（指導方針）

人権を尊重し、人権問題を解決する行動力の育成

子どもたちがさまざまな人権問題を自らの問題として自覚し、生活の中にある課題の解決を図っていくために、教職員は学校・園のあり方を人権尊重の視点で常に見直していく必要がある。さらに、この視点から教育目標や年間指導計画の策定に努め、自他の人権の尊重と擁護、人権問題の解決に向けた行動力の育成につながる人権教育を推進していくことが求められる。

- ① 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。
- ② 校内の人権教育を一層推進するため、教職員の研修機会の充実に努めるとともに、中心となりうる教職員および子どものリーダーを育成する。
- ③ 中学校区単位で授業交流、情報交換会、子ども人権フォーラム等を実施し、校園や地域関係組織との連携を一層深める。
- ④ 人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子どもなど個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。
- ⑤ いじめや差別のない学校づくりに向けて、保護者・教職員を対象に一人ひとりの人権意識を高める研修を継続する。

□ 幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集（対象：保育園・幼稚園児、小学生、中学生、高校生／募集締切：9月18日）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生／募集締切：1月16日）
- ・ 市中学校ブロック子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／開催日：各ブロック随時）
- ・ 人権のひろば展（開催日：12月1日～2日、1月7日～31日／展示内容：人権ポスター）

□ 教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員／5月18日）
- ・ 人権教育実践研修会（対象：幼稚園教職員／7月25日 小・中学校中堅教職員／8月3日）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭／8月9日）
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員／8月24日）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等／8月24日）
- ・ 人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員31名及び希望者／研修日3回）
- ・ 人権教育リーダーフォローアップ研修会（対象：前年度のリーダー育成研修会参加者及び人材バンク登録者／12月26日）

□ 指導用図書及び資料の配付

- ・ 学校人権教育のてびき（第54集）

『学校における人権総合学習プログラム』 —人権教育推進校の実践から—

□県・市人権教育推進事業

委託事業名	学 校 名 等	期 間
市人権教育推進校園指定事業	常磐小、三重小、神前小、三滝中、保々中、中部中、川島幼、常磐中央幼	1 年
子ども人権文化創造事業・自己実現支援事業	市内4地区	1 年
市中学校ブロック人権文化創造事業	22中学校ブロック	1 年
〔県委託事業〕子ども支援ネットワーク構築事業	保々中学校区	1 年

● 人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・電話番号	建設年月日	構造	敷地面積 m ²	建物延べ m ²	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL351-7609	S50.11.7 増築 H15.2.24	RC造 2F	697.52	250.50	1階 事務所、料理実習室、和室 2階 ホール、図書室
赤堀児童 集会所		S52.3.31 増築 H60.3.29	RC造 2F			558.00
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL346-2803	S48.9.30 増築 H15.3.14	RC造 2F	864.00	253.26	1階 事務所、料理実習室、和室2 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31 増築 H3.3.31	S造 平屋			258.17
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL339-0909	S48.3.15	RC造 2F	1,650.00	301.00	1階 事務所、相談室 2階 教養室、図書室
小牧児童 集会所		TEL339-1287	S50.3.31			S造 平屋
人権プラザ 神前	寺方町2281 TEL326-0840	S50.4.30	RC造 2F	756.58	309.18	1階 事務所、料理実習室、相談室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町2251 TEL326-5022	S52.8.31 増築 S60.3.30	S造 平屋	1,799.79	486.84	ホール、学習室、図書室、幼児室、図工室、職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 TEL326-4236	S52.5.25	S造 平屋	713.14	204.39	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

● 施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館 6, 7, 8F 日永東一丁目2-28 適応指導教室（ふれあい教室）
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 適応指導教室

● 業務内容（平成23年度）

事業名	内容
研究	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重点課題研究推進校による研究推進 ○ 課員による課題研究の推進 ○ 教育図書、研究資料の整備、提供 ○ 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の企画・運営 （教職員研修講座の企画・運営、教師力向上サポートブックによる自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員研修の推進 等） ○ 乳幼児教育研修の企画・運営 ○ 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校や発達、行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援（来所相談、学校・園への巡回相談（就学相談を含む）、電話相談、他の相談機関との連携調整） ○ 「ふれあい教室」での不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 ○ 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 ○ 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 ○ 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 ○ 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープや16ミリフィルム、プロジェクターなどの貸出し